

# グンマノミライ2030

平成30年2月1日（木）

前橋市総合福祉会館

# ESD/SDGsについての解説

# 「ESD」とは？

# Education for ~のための教育 Sustainable ~持続可能な Development ~開発・発展

## 持続可能な開発のための教育

「持続可能な開発のための教育(ESD)」は、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等、人類の開発活動に起因する現代社会における様々な問題を、各人が自らの問題として主体的に捉え、身近なところから取り組むことで、それらの問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、もって持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動である。【ESD国内実施計画より】

# ESD推進の経緯

- 2002年（H14）持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）で「ESDの10年（DESD）」が提唱される。
- 2005年（H17）**国連持続可能な開発のための教育の10年**開始～2014年（H26）まで
- 2014年（H26）「ESDに関するユネスコ世界会議」においてDESDの後継プログラムとして「**ESDに関するグローバル・アクション・プログラム（GAP）**」の開始が正式発表
- 2015年（H27）ESD活動支援企画運営準備委員会において検討開始
- 2016年（H28）「我が国における『持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム』実施計画」（**ESD国内実施計画**）が関係省庁連絡会議で決定
- 2016年（H28）平成28年4月 ESD活動支援センター（**全国**）開設

## 【ESD国内実施計画（抜粋）】

[～ESD活動に取り組む様々な主体が参画・連携し、拠点の形成とともに、地域が必要とする取組支援や情報・経験を共有できる「**ESD活動支援センター（全国・地方）**」を整備し、地域の実態を踏まえた効果的な運用を図っていく。]

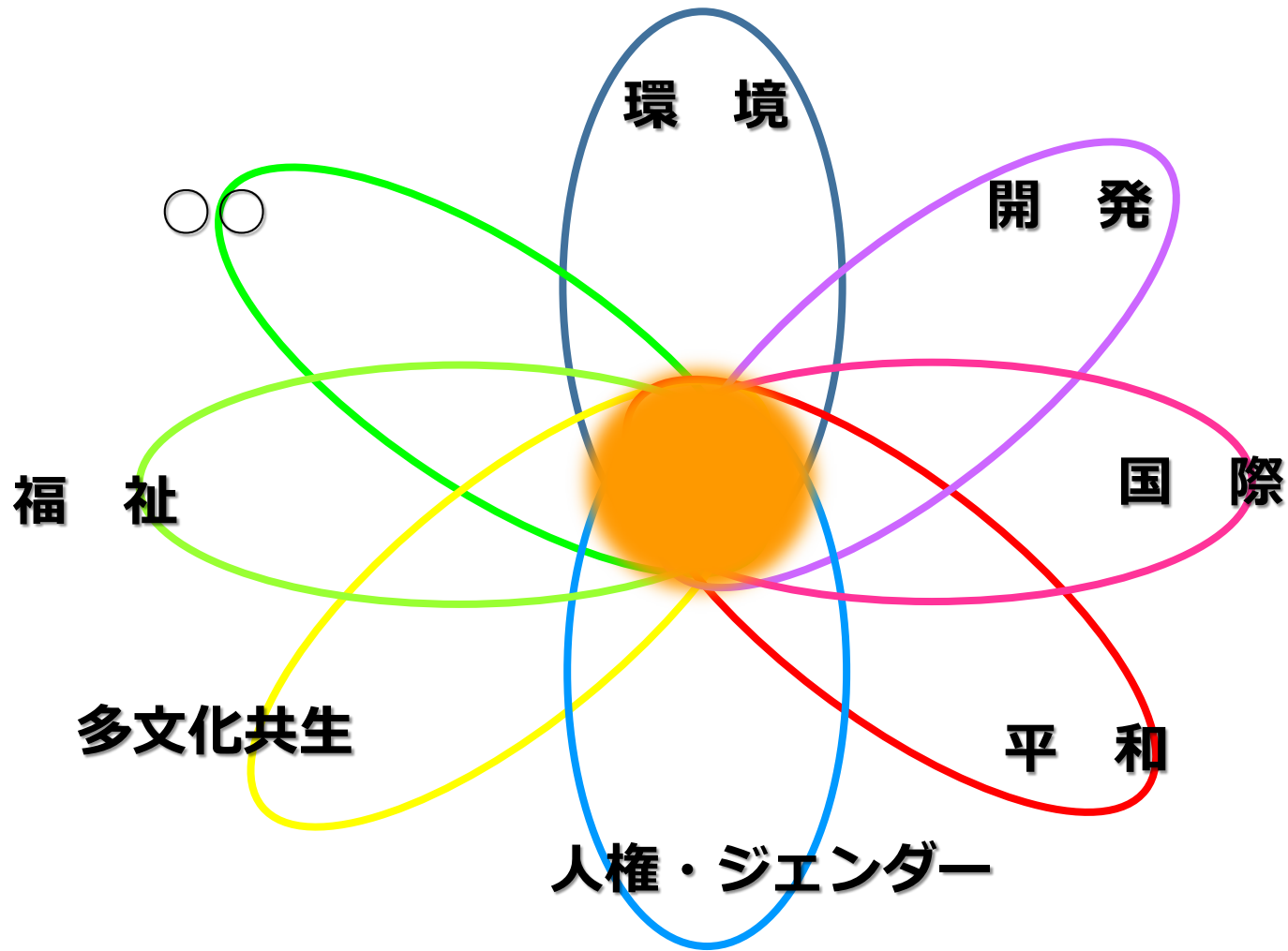
# 地球規模課題の深刻化

持続可能性を  
脅かす脅威

貧困問題 温暖化 エネルギー問題  
栄養改善 異常気象  
食料 生物多様性  
持続可能性 気候変動  
差別 砂漠化  
児童労働 教育  
人口増加 難民問題 紛争

CSOネットワーク事務局長・理事 黒田かをり氏作成 参考:「新CSR検定3級」オルタナ他

# 〇〇教育の接点 = ESD



# ESDの特徴

ESDの対象は子ども  
だけではありません

学校、企業、地域住民、行政、NPO・・・  
多様な立場や世代の人々がESDの担い手であり、  
学び手です。



**「協働」する意識**  
・適切な役割分担  
・対等な立場  
・相互に協力  
**=お互いの強みを  
活かして、同じ課  
題を共有し、協力  
し合う  
=持続可能な社会**



# ESDの特徴

「教える」教育ではありません

具体的な課題・問題を解決するために考え、話し合い、行動しながら学ぶ学習活動です。



「気付き」を大切にする

- ・ どうして？
- ・ 誰が？
- ・ どこで？
- ・ どうしたら？

# ESDの特徴

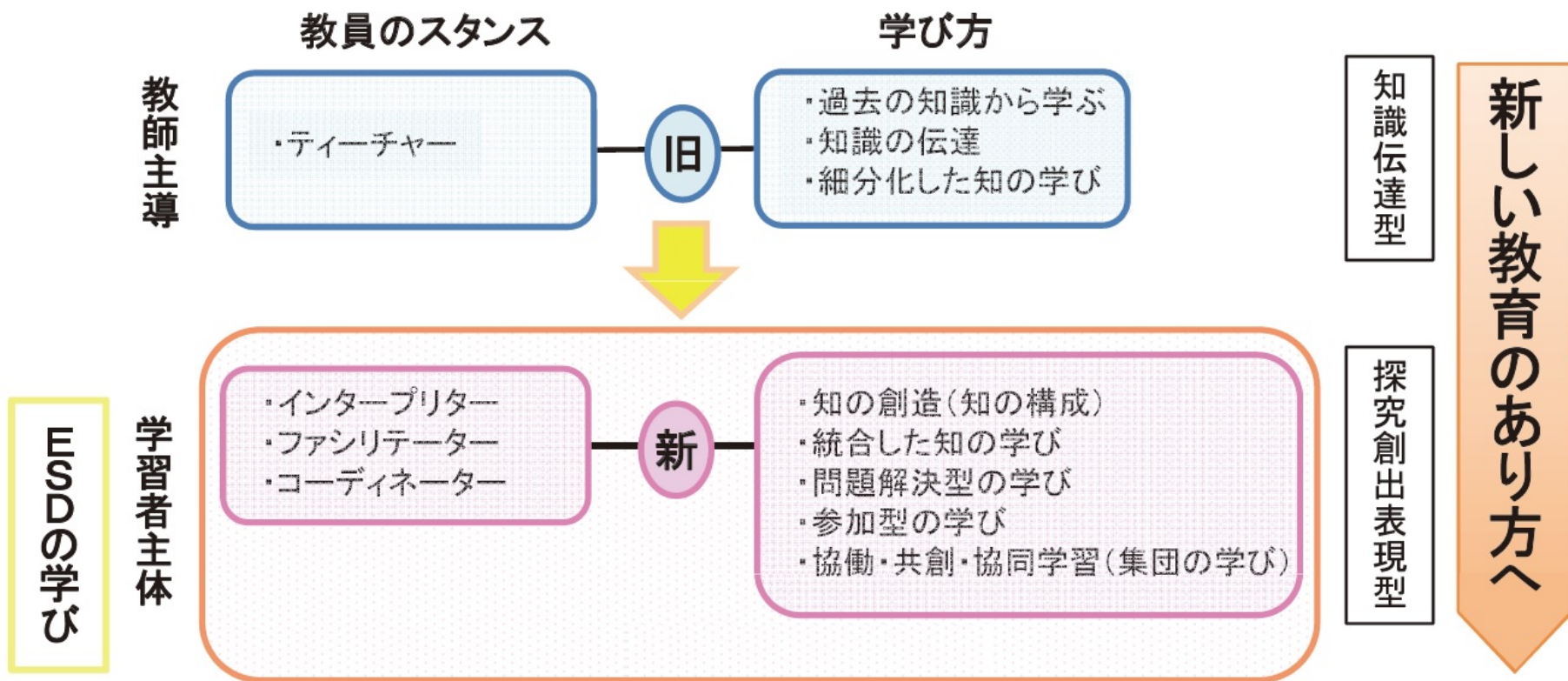
## 未来を描くこと

地域の歴史や現実を学び、そこから自分たちが望む未来を描くことから始まります。



50年後も、  
100年後も、  
自分の子どもも、  
孫も、そのまた  
子どもも、  
ずっとこの地域で  
暮らすために

# ESDの進め方



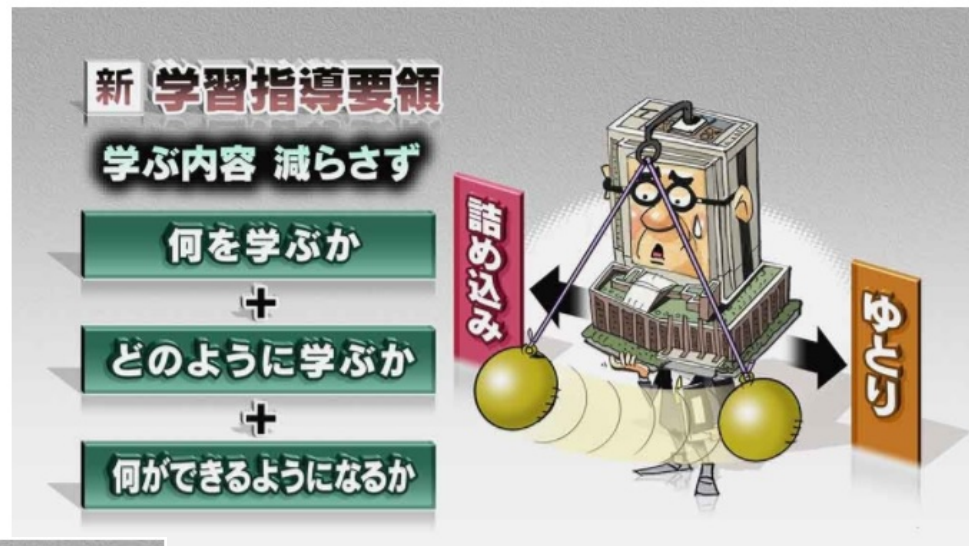
環境省「ESD 環境教育モデルプログラムガイドブック②」  
平成26年7月発行 より

# 教育も大きく変わる

## 学習指導要領の改訂

- 小学校：2020年度
- 中学校：2021年度
- 高校：2022年度以降

グローバル化や人口減がますます進むと予想される2030年代に社会人となる今の子どもたちが小中学校や高校で何を学ぶべきなのかを示す。



NHK「時論公論」2016年12月23日(金)  
「学習指導要領改訂 新たな学びは実現するのか」  
西川 龍一 解説委員 より抜粋

# 学習指導要領の改訂

## ■ 前文（幼・小・中）

これからの学校（幼稚園）には、・・・一人一人の生徒（幼児・児童）が、・・・自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、**持続可能な社会の創り手となる**ことができるようにする・・・ことが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが、各学校（幼稚園）において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程である。

この考え方は、  
ESDそのものです

平成29年3月31日公示 新学習指導要領

# 新しい学習指導要領等が目指す資質・能力の三つの柱

学びに向かう力  
人間性等

どのように社会・世界と関わり、  
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を  
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか  
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる  
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

# 学習指導要領の改訂

学び方としては・・・

① 教科横断的な視点

「カリキュラム・マネジメント」

② 主体的・対話的で深い学び

「アクティブ・ラーニング」

(問題解決的な学び)

# 「ESD」の意義



# 変わり行く世界情勢

中国：一帯一路による覇権拡大

アメリカ：世界覇権放棄？

EU：統合の行方は？

北朝鮮：今後どうなのか？



ASEAN：経済規模拡大

# 先の見えない世界情勢

## Rise and fall

GDP at purchasing power parity (PPP) rankings

2009 rank	GDP at PPP*	2050 rank	Projected GDP at PPP*
1	US \$14,256bn	1	China \$59,475bn
2	China \$8,888bn	2	India \$43,180bn
3	Japan \$4,138bn	3	US \$37,876bn
4	India \$3,752bn	4	Brazil \$9,762bn
5	Germany \$2,984bn	5	Japan \$7,664bn
6	Russia \$2,687bn	6	Russia \$7,559bn
7	<b>UK \$2,257bn</b>	7	Mexico \$6,682bn
8	France \$2,172bn	8	Indonesia \$6,205bn
9	Brazil \$2,020bn	9	Germany \$5,707bn
10	Italy \$1,922bn	<b>10 UK \$5,628bn</b>	
11	Mexico \$1,540bn	11	France \$5,344 bn
12	Spain \$1,496bn	12	Turkey \$5,298bn
13	South Korea \$1,324bn	13	Nigeria \$4,530bn
14	Canada \$1,280bn	14	Vietnam \$3,939bn
15	Turkey \$1,040bn	15	Italy \$3,798bn
16	Indonesia \$967bn	16	Canada \$3,322bn
17	Australia \$858bn	17	South Korea \$3,258bn
18	Saudi Arabia \$595bn	18	Spain \$3,195bn
19	Argentina \$586bn	19	Saudi Arabia \$3,039bn
20	South Africa \$508bn	20	Argentina \$2,549bn

SOURCE: WORLD BANK ESTIMATES FOR 2009, PWC MODEL ESTIMATES FOR 2050

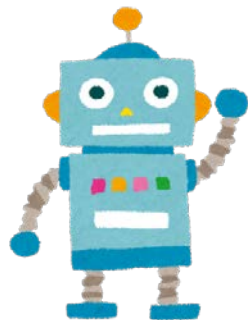
Constant 2009 US\$

プライスウォーターハウスクーパース (PwC) による  
2050年のGDPランキング  
= 画像: The Guardian

# 今後、社会は大きく変わる



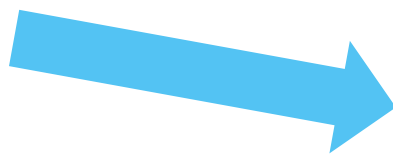
AI



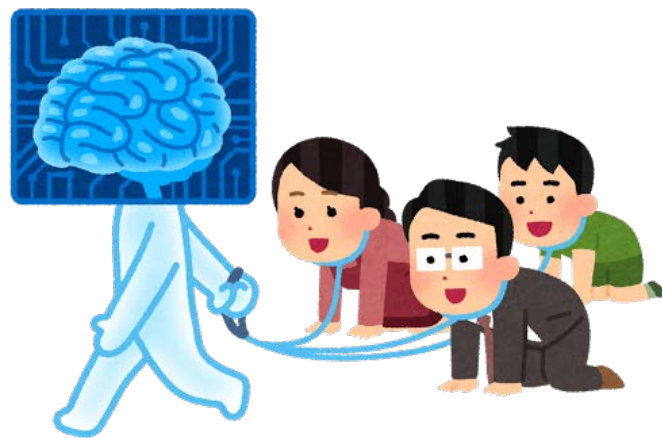
ロボット



自動運転



銀河鉄道999で描かれたような、  
機械に支配されるかもしれない話は、  
遠い将来の話ではない。



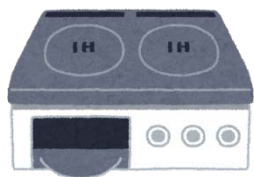
こうならないためには？

# 技術の進歩は人間を駄目にする？



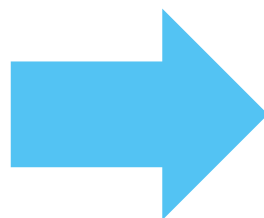
スマホ

- 知らないことは、すぐ検索
- ナビなしではどこにも行けない
- コミュニケーションはSNSだけ？
- 記憶は不要



IH

- 火を見た事がない子ども
- ライター、マッチが使えない
- 「火は危ない」事を知らない



インフラが止まった時、  
何も出来ない

# ESDを行う必要性

何より次世代を生きる子どもたちに  
求められているのは、  
答えのない課題を見つけ、  
みんなで最適な解決方法を  
探っていく力なのですから。

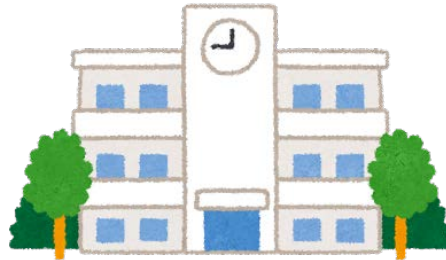
教育ジャーナリスト 渡辺敦司 氏

# ESDの進め方のイメージ

博物館



学校



市民



学校と、地域社会のあらゆる主体が連携して、実際の地域課題を解決する方法を考え、学び、実践していくことが大切。

# SDGsとは？



「PPAP = Public Private Action for Partnership」

# 持続可能な開発目標 (SDGs)

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



- 2030年を達成期限とする17のゴール、169のターゲット
- “誰も取り残さない”持続可能な社会を目指す



# 持続可能な開発目標 (SDGs)



## 1 貧困をなくす

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。



## 2 飢餓をゼロに

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。



## 3 健康と福祉

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。



## 4 質の高い教育

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。



## 5 ジェンダー平等

ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。



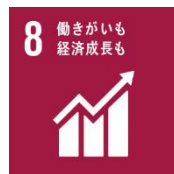
## 6 水と衛生

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。



## 7 誰もが使える クリーンエネルギー

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。



## 8 デイセントワークと 経済成長

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。



## 9 産業・技術革新・社会基盤

強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。



## 10 格差の是正

各国内及び各国間の不平等を是正する。



## 11 持続可能なまちづくり

包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する。



## 12 持続可能な消費と生産

持続可能な生産消費形態を確保する。



## 13 気候変動へのアクション

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。



## 14 海洋資源

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。



## 15 陸上資源

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。



## 16 平和、正義、有効な制度

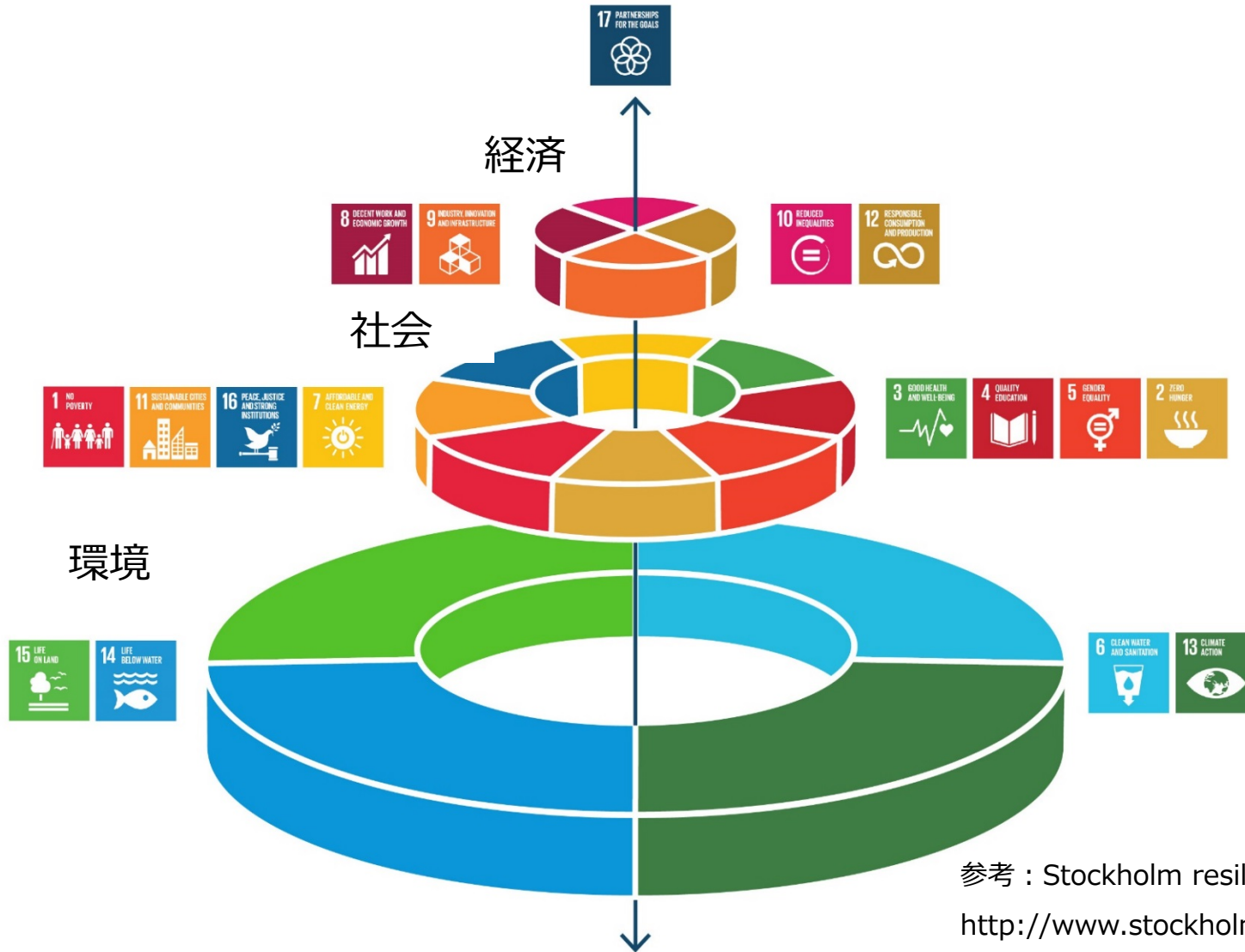
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。



## 17 目標達成に向けた パートナーシップ

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

# 「SDGs」と「環境」



参考 : Stockholm resilience center  
<http://www.stockholmresilience.org/>  
Graphics by Jerker Lokrantz/Azote

# 「SDGs」と「教育」

- 教育はSDGsの目標4に位置付けられており、ESDは目標4の中のターゲット4.7に記載されています。しかし、教育については、「教育が全てのSDGsの基礎」であり、「全てのSDGsが教育に期待」している、とも言われています。特に、ESDは持続可能な社会の担い手づくりを通じて、17全ての目標の達成に貢献するものです。ですから、ESDをより一層推進することが、SDGsの達成に直接・間接につながっています。また、SDGsを、ESDで目指す目標が国際的に整理されたものとして捉えることもできます。



持続可能な開発のための教育(ESD)の更なる推進に向けて  
～学校等でESDを実践されている皆様へのメッセージ～  
文部科学省 日本ユネスコ国内委員会教育小委員会

# 日本政府としての取組



首相官邸 Prime Minister of Japan and His Cabinet

## 政策会議

[▲ トップページへ](#)

[トップ](#) > [会議等一覧](#) > 持続可能な開発目標（SDGs）推進本部

### 持続可能な開発目標（SDGs）推進本部

持続可能な開発目標（SDGs）に係る施策の実施について、関係行政機関相互の緊密な連携を図り、総合的かつ効果的に推進するため、全国務大臣を構成員とする持続可能な開発目標（SDGs）推進本部を設置しています。

平成28年に設置され、年2回、各国務大臣が参加して開催されている。



ESD(持続可能な開発のための教育)について

# ESD活動支援センター (全国・地方)

# ESD推進ネットワーク

## ESD推進ネットワークは

ESDの広がりや深まりを通じて  
地域の諸課題の解決と教育の質の向上、  
SDGs達成に向けた意識・行動変革を進めます。

持続可能な社会を目指して



持続可能な開発目標 (SDGs)

### 地域ESD活動推進拠点(地域ESD拠点)

地域におけるESD活動の支援窓口として、地方センターや他の地域ESD拠点と連携して、ESD活動を支援したり、これからESDを始めようとする活動主体に働きかけます。  
地域コミュニティや学校区、市区町村、都道府県、広域ブロックなど様々な活動範囲を持つ組織・団体(教育関係、学術研究関係、メディア、企業、地方自治体、行政、その他)が、地域ESD拠点となり、得意分野を活かした支援やコーディネート、学び合いの場づくりを行います。

ESD推進に取り組む  
組織・団体と  
協力・連携します。

学校、地域、職場などで  
ESDに取り組んでいる多様な実践主体  
(ESD活動の現場)

ESDに取り組もうとしている  
多様な主体(潜在的な活動主体)

ニーズ・成果共有

ESDを広めるため、深めるための働きかけ・支援

多数・多様・重層的な  
地域ESD活動推進拠点  
(地域ESD拠点)

ニーズ・成果共有

連携・支援

ESD活動支援センター

地方センター(全国8か所)  
+  
全国センター

協力団体

地方ESD活動支援センター(地方センター)  
全国センターや地方自治体、地域ESD拠点  
等との連携のもとに、主に以下の機能を果たすことで、ESD推進ネットワークの広域的なハブ機能を果たします。

1. ESD活動を支援する情報共有機能
2. 現場のニーズを反映したESD活動の支援機能
3. ESD活動のネットワーク形成機能
4. 人材育成機能、等

# 2017年 地方ESD活動支援センター開設

地方ESD活動支援センター(地方センター)  
全国センターや地方自治体、地域ESD拠点  
等との連携のもとに、主に以下の機能を果  
たすことで、ESD推進ネットワークの広域  
的なハブ機能を果たします。

1. ESD活動を支援する情報共有機能
2. 現場のニーズを反映したESD活動の  
支援機能
3. ESD活動のネットワーク形成機能
4. 人材育成機能、等



# 関東地方ESD活動支援センター開設

## 【概要】

**名称**：関東地方ESD活動支援センター

**略称**：関東ESDセンター

**英語名**：ESD Resource Center of Kanto, Japan

**開設日**：平成29年7月3日（月）

**連絡先**：〒150-0001

東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B1F

**T E L**：03-6427-7975 **F A X**：03-6427-7976

**U R L**：<http://kanto.esdcenter.jp/>

**E-mail**：[kanto@kanto-esdcenter.jp](mailto:kanto@kanto-esdcenter.jp)

## 【ロゴマーク】



関東地方ESD活動支援センター

Education for Sustainable Development



## 【関東ESDセンターの役割】

- ① ESD活動を支援する情報共有機能
- ② 現場のニーズを反映したESD活動の支援機能
- ③ ESD活動のネットワークの形成機能
- ④ 人材育成機能

## 【関東ESDセンター今年度の主要事業】

- ・ ESD実践・推進にかかる相談/支援
- ・ ウェブサイト、メールマガジン等による情報発信
- ・ 地域におけるESD推進の課題・ニーズの把握
- ・ 関東地方ESD推進ネットワーク・フォーラム（仮称）の開催
- ・ 地域ESD拠点の形成・ネットワークの構築
- ・ 地域ESD拠点間、ESD実践者の学び合いの場づくり

## 【Webサイト】

<http://kanto.esdcenter.jp/>



関東地方ESD活動支援センター  
Education for Sustainable Development

関東地方ESD活動支援センター“ESD勉強会” 社会教育施設と学校との地元連携を考える  
日時：平成29年9月25日（月）9:30～16:00  
会場：江東区深江11戸資料館（東京・深江）

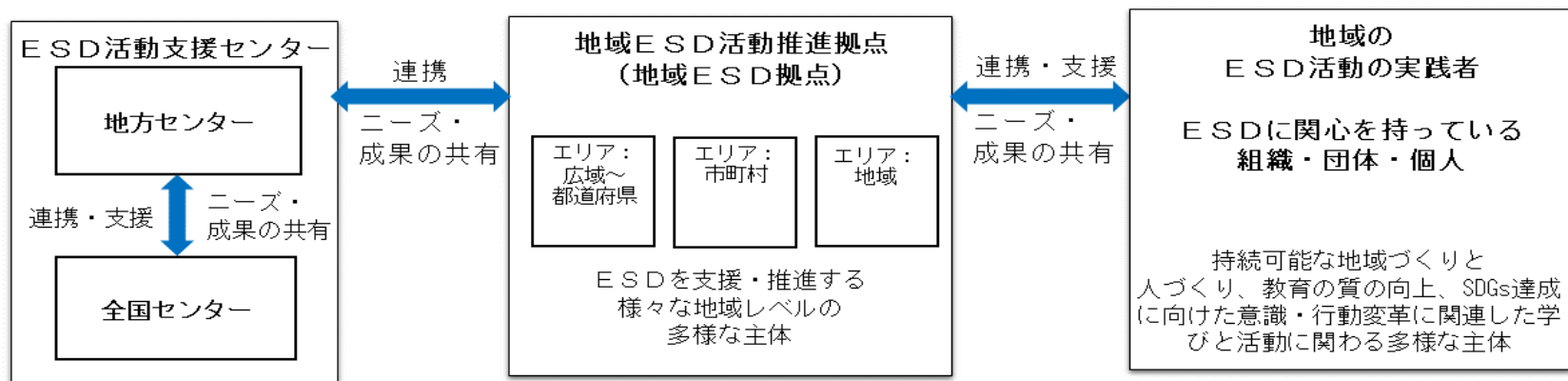
イベント・レポート  
2017.07.20 ESD関係ニュースイベント・レポート  
取材レポート：横浜市ESD推進コンソーシアム【授業づくり講座・ESD（南郷）】  
横浜市ESD推進コンソーシアムにより7/10に開催された「授業づくり講座・ESD（南郷）」の様子をレポートします。

最新情報一覧  
2017.08.15 ESD関係ニュースイベント・レポート  
【寄稿】環境と防災のフィールドワーク～気候変動適応策を学ぼう～  
平成29年7月20日（木）、21日（金）10:30～16:00  
川崎市高津区内  
三川崎市電線局環境講座より情報提供頂きました。

関東地方ESD活動支援センター  
Education for Sustainable Development

# 「地域ESD拠点」

地域ESD拠点には、地方センターの地域におけるパートナーとして、他の地域ESD拠点とも連携し、各地域・各分野で取り組まれるESDをさまざまな形で支援することでESD推進ネットワークの中で中核的な役割を果たすことが期待されています。

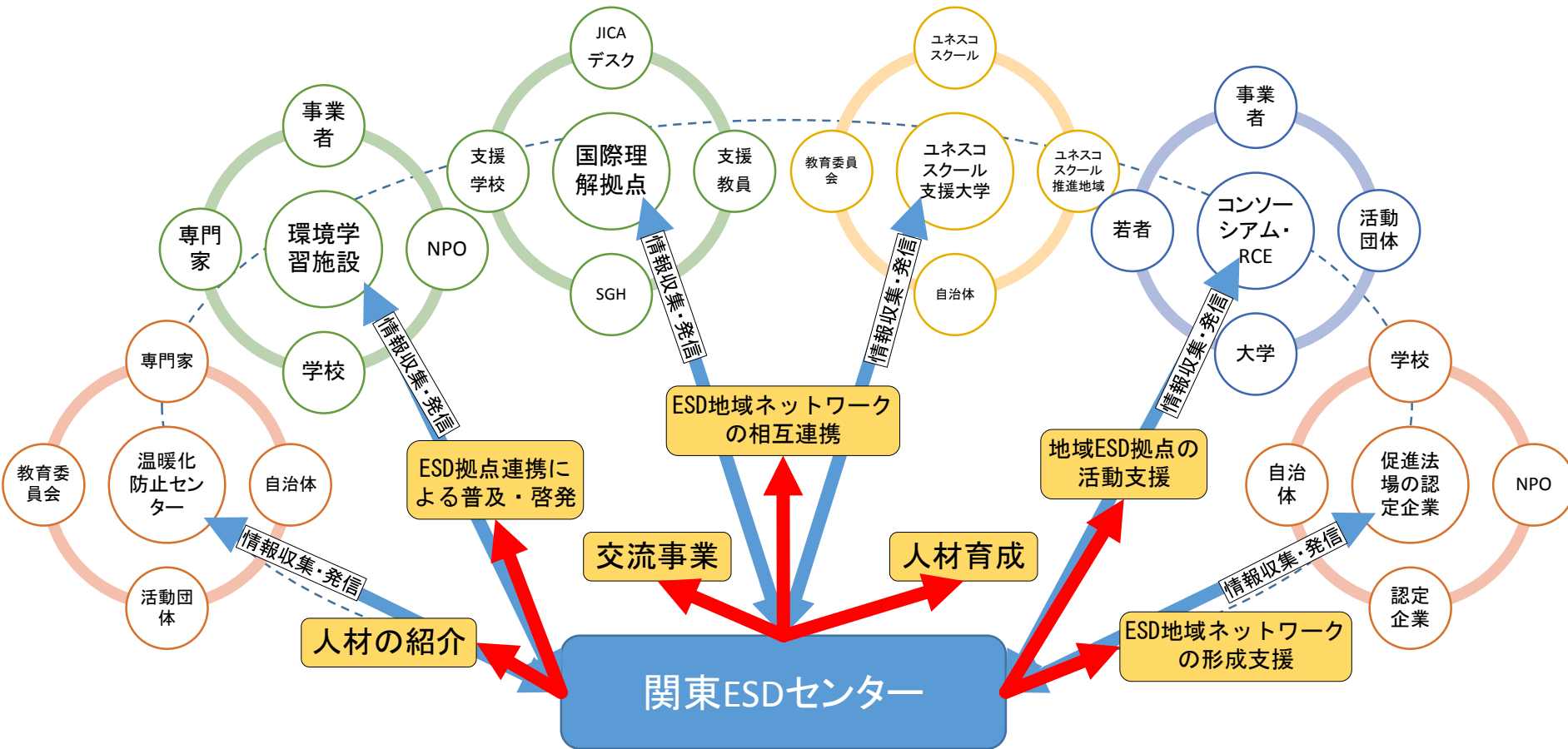


# 地域ESD拠点のタイプ別イメージ

タイプ・形態	想定される組織・団体
中間支援組織型	地球温暖化防止活動センター、NPO支援センター、地域支援センター、JICA、ASPUnivNet(ASPユニブネット)加盟大学
ネットワーク型	ESDコンソーシアム、RCE(国際連合大学が推進するRegional Centres of Expertise on ESD)、ESD協議会、環境ネットワーク組織、環境教育プラットフォーム、メディア
先導実践型 (トップランナー型)	ユネスコスクール、学校、大学、企業、NGO/NPO、自然学校、自治体・行政機関、教育委員会、ユース組織、地域ユネスコ協会
施設・センター型	環境学習施設、社会教育施設(博物館、図書館、公民館、動物園、水族館、植物園)、国際理解拠点、男女参画センター、消費生活センター
シンクタンク型	学術研究機関、ESD関連学会、教育研究所・教育センター、専門家ネットワーク

関東ESDセンター作成

# ESD地域推進拠点のイメージ



情報 = 活動・ニーズ・リソース

関東ESDセンターは、推進拠点・ネットワークをつなぐ